

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

漢語泗水方言の音韻に関する記述的考察

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 神戸市外国語大学大学院外国語学研究科博士課程文化交 流専攻 公開日: 2025-01-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 李 仁治 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2000173

漢語泗水方言の音韻に関する記述的考察¹

李 仁治

要旨

本稿は主に漢語泗水方言の音韻体系の記述を試みた。本稿は泗水県概況、先行研究、音韻体系、特殊音韻現象の4つの部分で構成される。王衍軍(2014)等の先行研究を参考しつつ、音節構造、子音、母音と声調の各部分について筆者の一次資料を用いて記述するものである。

1. 泗水県概況

泗水県は山東省の中南にある県である。面積は1118.11平方キロメートルである。2020の人口調査によると人口は542895人である。地形については南と北は高く、中央は低い。南と北にはおおよそ738.5平方メートルの丘と山地があり、泗水県の面積の67%を占めている。中部には353.2平方キロメートルの平原地域がある。泗水県には2つの町と11の鎮(泗河街道、済河街道、泉林鎮、星村鎮、柘溝鎮、金莊鎮、苗館鎮、中冊鎮、楊柳鎮、泗張鎮、聖水峪鎮、高峪鎮、大黃溝鎮)がある。泗水県に定住する民族は漢族で、少数民族は大多数が回族(2777人)である。各民族の交流は頻繁であり、文化や慣習は相互に影響を与えてきた。

2. 先行研究

泗水方言を研究する文献は非常に少ないので、先行研究は主に2006年編成された『泗水県志』と王衍軍(2014)『泗水方言研究』の二種がある。

『泗水県志』の方言研究は方言の概説、音声、語彙、文法などに分かれている。まず音声について、この本には泗水方言に特有な発音が音声記号/pf/pʰ/などで書かれてある。音声表記については、詳細な記述がされている。だが、音韻体系が十分整理されていない。

王(2014)では泗水県の概況、具体的な音声、語彙、文法が詳しく記述されている。しかし、音素分析はなされていない。例えば、鼻母音/a/が

¹ 本論文は筆者の修士論文「漢語泗水方言の音韻に関する記述的考察」をもとに、第56回国際シナ=チベット言語学会議(2023年、チュラロンコン大学)で発表した内容を踏まえて補足・改訂したものである。

存在しており、/aŋ/も存在しているのは問題点である。また、二重母音の/ei/を単母音/e/に書くのは二つの問題点だと思う。三つ目の問題点はR化現象(児化音)の表記である。「儿」を表記するときは母音の/a/だが、「媳妇儿」(妻)を表記するときは[ei²¹³fer⁵⁵]になっており、認めていない末子音の/rが付いてくる。それに音声表記の[r]は震え音であり、かなり不適切な表記である。さらに、/iã/と/yã/は音声的に[iɛ̃]と[yɛ̃]で実現しており、[ɛ̃]は音素/a/でまとめることができるか否かのも問題点である。先行研究の文法については、王(2014)は主に歴史言語学の観点から分析したのだが、通時的なものと共に共時的なものが混じているのは問題点である。

3. 音素

音素については、音節構造、子音、母音と声調を記述する。

3.1 音節構造

泗水方言には音節構造と標準語と同じく、CV1V2C2/T である。主にはCV, CVC, CVV, CVVC という形で現れる。例1はその例である。しかし、一つ特殊な末子音があり、詳しくは2.3で述べる。

例. CV	法 /fa ⁵⁵ / [fa ⁵⁵]	刷 /fa ⁵⁵ / [fɛ ³⁵]
CVC	帮 /paŋ ³⁵ / [peŋ ³⁵]	丧 /saŋ ³⁵ / [seŋ ³⁵]
CVV	多 /tuə ³⁵ / [tuə ³⁵]	略 /lyə ²¹³ / [lyə ²¹³]
CVVC	凉 /liəŋ ⁵¹ / [liəŋ ⁵¹]	光 /kuaŋ ³⁵ / [kueŋ ³⁵]

3.2 子音

泗水方言の子音音素は中国語標準語より多い。子音音素は以下の通りである

	両唇	唇齒	齒茎	軟口蓋
破裂音	p p ^h		t t ^h	k k ^h
鼻音	m		n	
破擦音			ts ts ^h	
摩擦音		f v	s z	x
接近音			r	

側面接近音

1

3.2.1 頭子音

頭子音は調音方法の観点から見ると破裂音、鼻音、破擦音、摩擦音、接近音の5種類がある。以下ではそれぞれの調音方法について説明し、例を示す。

破裂音

破裂音については6個存在する。すべて無声音であるが、無声無気と無声有気の対立がある。また調音点から見ると、両唇音・歯茎音・軟口蓋音の3対立が存在する。歯茎硬口蓋破擦音[te] [te^h]と軟口蓋破裂音[k] [k^h]は相補分布をなし、音素としては/k/k^hとまとめられる。

/k^(h)/ [te^(h)]/#_{i,y}, [k^(h)]/elsewhere

無気両唇破裂音 /p/ :

拔 /pa ⁵¹ / [pe ⁵¹]	「抜く」
班 /pan ³⁵ / [pan ³⁵]	「クラス」
蹦 /pəŋ ²¹³ / [pəŋ ²¹³]	「ジャンプする」
棒 /paŋ ²¹³ / [peŋ ²¹³]	「棒」

有気両唇破裂音 /p^h/ :

爬 /p ^h a ⁵¹ / [p ^h e ⁵¹]	「匍匐する」
盤 /p ^h an ⁵¹ / [p ^h an ⁵¹]	「お皿」
碰 /p ^h əŋ ²¹³ / [p ^h əŋ ²¹³]	「ぶつかる」
胖 /p ^h aŋ ²¹³ / [p ^h eŋ ²¹³]	「太る」

無気歯茎破裂音 /t/ :

打 /ta ⁵⁵ / [te ⁵⁵]	「打つ」
单 /tan ³⁵ / [tan ³⁵]	「一つ」
等 /təŋ ⁵⁵ / [təŋ ⁵⁵]	「待つ」
当 /taŋ ³⁵ / [teŋ ³⁵]	「なる」

有気歯茎破裂音 /t^h/ :

他 /t ^h a ³⁵ / [t ^h e ³⁵]	「彼」
谈 /t ^h an ⁵¹ / [t ^h an ⁵¹]	「会話する、話しかける」
疼 /t ^h əŋ ⁵¹ / [t ^h əŋ ⁵¹]	「痛い」
汤 /t ^h aŋ ³⁵ / [t ^h eŋ ³⁵]	「スープ」

無気軟口蓋破裂音 /k/ :

该 /ke ³⁵ / [ke ³⁵]	「借りている、支払い義務がある」
更 /kəŋ ²¹³ / [kəŋ ²¹³]	「さらに」

/k/ [tɕ] :

鸡 /ki ³⁵ / [tɕi ³⁵]	「鶏」
将 /kian ³⁵ / [tɕieŋ ³⁵]	「するつもり」

有気軟口蓋破裂音 /k^h/ :

卡 /k ^h a ⁵⁵ / [k ^h e ⁵⁵]	「カード」
开 /k ^h e ³⁵ / [k ^h e ³⁵]	「開ける、開く、運転する」
坑 /k ^h əŋ ³⁵ / [k ^h əŋ ³⁵]	「畏」

/k^h/ [tɕ^h] :

七 /k ^h i ³⁵ / [tɕ ^h i ³⁵]	「七」
枪 /k ^h ian ³⁵ / [tɕ ^h ieŋ ³⁵]	「拳銃」

鼻音

鼻音については、無気と有気の対立はないが、調音点から見れば、両唇音・歯茎音の2対立が存在する。

両唇鼻音 /m/ :

妈 /ma ³⁵ / [me ³⁵]	「お母さん」
慢 /man ²¹³ / [man ²¹³]	「遅い」

夢 /məŋ ²¹³ / [məŋ ²¹³]	「夢」
忙 /maŋ ⁵¹ / [məŋ ⁵¹]	「忙しい」

歯茎鼻音 /n/ :

那 /na ²¹³ / [na ²¹³]	「あれ」
男 /nan ⁵¹ / [nan ⁵¹]	「男」
能 /nəŋ ⁵¹ / [nəŋ ⁵¹]	「できる」
攘 /naŋ ⁵¹ / [nəŋ ⁵¹]	「刺す」

破擦音

破擦音については、2 個存在する。破裂音と同じく、すべて無声音であるが、無声無気と無声有気の対立がある。その中では、唇歯破擦音[pf^(h)]と歯茎破擦音[ts^(h)]は相補分布をなしている。

/ts^(h)/ [pf^(h)]/_u, [ts^(h)]/elsewhere

無気唇歯破擦音 /ts/[pf]:

庄 /tsuaŋ ³⁵ / [pfuaŋ ³⁵]	「村」
中 /tsuəŋ ³⁵ / [pfuəŋ ³⁵]	「真ん中」

/ts/ [ts]:

脏 /tsaŋ ³⁵ / [tsəŋ ³⁵]	「汚い」
蒸 /tsəŋ ³⁵ / [tsəŋ ³⁵]	「蒸す」

有気唇歯破擦音 /ts^h/[pf^h]:

床 /ts ^h uaŋ ⁵¹ / [pf ^h uaŋ ⁵¹]	「ベッド」
虫 /ts ^h uəŋ ⁵¹ / [pf ^h uəŋ ⁵¹]	「虫」

/ts^h/ [ts^h]:

长 /ts ^h aŋ ⁵⁵ / [ts ^h əŋ ⁵⁵]	「長い」
称 /ts ^h əŋ ³⁵ / [ts ^h əŋ ³⁵]	「量る」

摩擦音

摩擦音について、唇歯音と歯茎音には無気と有気の対立がないが、有声と無声の対立がある。調音点から見ると、唇歯音・歯茎音・軟口蓋の対立が存在する。歯茎硬口蓋摩擦音[ɕ]は軟口蓋摩擦音の[x]と相補分布をなす。分布状況については以下のように示す。

/x/ [ɕ]/#_{i,y},[x]/elsewhere

無声唇歯摩擦音 /f/ :

发 /fa ³⁵ / [fɛ ³⁵]	「配布する」
书 /fu ³⁵ / [fʉ ³⁵]	「本」
反 /fan ⁵⁵ / [fan ⁵⁵]	「逆」

有声唇歯摩擦音 /v/ :

如 /vu ⁵¹ / [vu ⁵¹]	「ごとく」
软 /van ⁵⁵ / [van ⁵⁵]	「やわらかい」

無声歯茎摩擦音 /s/ :

死 /si ⁵⁵ / [sɿ ⁵⁵]	「死ぬ」
山 /san ³⁵ / [san ³⁵]	「山」

有声歯茎摩擦音 /z/ :

日 /zi ²¹³ / [zɿ ²¹³]	「太陽」
染 /zan ⁵⁵ / [zan ⁵⁵]	「染める」
人 /zən ⁵¹ / [zən ⁵¹]	「人」

軟口蓋摩擦音 /x/[x] :

哈 /xa ³⁵ / [xa ³⁵]	「感嘆詞」
汗 /xan ²¹³ / [xan ²¹³]	「汗」
横 /xəŋ ⁵¹ / [xəŋ ⁵¹]	「横」

航 /xaj⁵¹/ [xɛŋ⁵¹] 「渡る」

/x/[ɛ] :

西 /xi³⁵/ [ɛi³⁵] 「西」

羞 /xiu³⁵/ [ɛiu³⁵] 「恥ずかしい」

仙 /xien³⁵/ [ɛien³⁵] 「神」

接近音

接近音については、側面接近音/l/のみが存在する。

側面接近音 /l/ :

拉 /la³⁵/ [lɛ³⁵] 「引く」

藍 /lan⁵¹/ [lan⁵¹] 「青い」

冷 /lɛŋ⁵⁵/ [lɛŋ⁵⁵] 「冷たい、寒い」

狼 /laŋ⁵¹/ [lɛŋ⁵¹] 「狼」

3.2.2 末子音

泗水方言では/-n//-ŋ//-r/がある。末子音の/r/については、出現条件が限られており、R化現象で前の音節と調合する必要がある。

(1)/-n/ 音声は[n]であり、母音-a-, -ə-, -i(e)-, -u(a)-, -y(e)-と結合しうる。具体的な音声例は以下の通りである。

/-an/

班 /pan⁵⁵/ [pan⁵⁵] 「クラス」

判 /p^han²¹³/ [p^han²¹³] 「審判される」

/-in/

賓 /pin³⁵/ [pin³⁵] 「お客」

姘 /p^hin³⁵/ [p^hin³⁵] 「頭悪い」

/-ien/

变 /pien²¹³/ [pien²¹³]

「なる、変化する」

骗 /p^hien²¹³/ [p^hien²¹³]

「だます」

/-ən/

本 /pən⁵¹/ [pən⁵¹]

「本の量詞」

喷 /p^hən³⁵/ [p^hən³⁵]

「噴く」

/-un/

困 /k^hun²¹³/ [k^hun²¹³]

「眠い、眠くなる」

棍 /kun²¹³/ [kun²¹³]

「棒」

/-uan/

宽 /k^huan³⁵/ [k^huan³⁵]

「広い」

关 /kuan³⁵/ [kuan³⁵]

「閉める」

/-yn/

军 /kyn³⁵/ [tɕyn³⁵]

「軍隊」

群 /k^hyn⁵¹/ [tɕ^hyn⁵¹]

「量詞」

/-yen/

卷 /kyen⁵⁵/ [kyen⁵⁵]

「巻く」

圈 /k^hyen³⁵/ [tɕ^hyen³⁵]

「サークル」

(2) /-ŋ/ 音声は[ŋ]であり、母音-a-, -i(a)-, -u(a)-, -ə-, -y-と結合しうる。具体的な音声例は以下の通りである。具体的な音声実現は、/a/以外はすべて[-əŋ]で実現する。

/-aŋ/

帮 /paŋ³⁵/ [pəŋ³⁵]

「助ける」

胖 /p^haŋ²¹³/ [p^haŋ²¹³]

「太っている」

/-əŋ/

蹦 /pəŋ²¹³/ [pəŋ²¹³]

「ジャンプする」

碰 /p^həŋ²¹³/ [p^həŋ²¹³]

「ぶつかる」

/-iŋ/

冰 /piŋ³⁵/ [piəŋ³⁵]

「氷」

平 /p^hiŋ⁵¹/ [p^hiəŋ³⁵]

「平」

/-uŋ/

龙 /luŋ⁵¹/ [luəŋ⁵¹]

「竜」

红 /xuŋ⁵¹/ [xuəŋ⁵¹]

「赤」

/-iaŋ/

亮 /liaŋ²¹³/ [liəŋ²¹³]

「明るい」

讲 /kiaŋ⁵⁵/ [tɕiəŋ⁵⁵]

「話す」

/-uaŋ/

光 /kuaŋ³⁵/ [kuəŋ³⁵]

「光」

筐 /k^huaŋ³⁵/ [k^huəŋ³⁵]

「かご」

/-yŋ/

穷 /k^hyŋ⁵¹/ [tɕ^hyəŋ⁵¹]

「貧しい」

熊 /xyŋ⁵¹/ [ɕyəŋ⁵¹]

「熊」

(3) /-r/ 音声は[ɹ]であり、母音-ə-, -o-と結合しうる。

/-ər/

李家坡儿 /li³⁵kia⁵⁵p^hər³⁵/

「地名」

[li³⁵tɕia⁵⁵p^həɪ³⁵]茶沫儿 /ts^hɛ⁵¹məɪ³⁵/ [ts^hɛ⁵¹məɪ³⁵]

「お茶の泡」

/-or/

桃/t^hor⁵¹/[t^hɔɪ⁵¹]

「もも」

考号/k^ho⁵⁵xor²¹³/[k^hɔ⁵⁵xɔɪ²¹³]

「受験番号」

3.3 母音

母音音素は以下である。

	Front	Middle	Back
Close	i/y		u
Mid	e	ə	o
Open		a	

3.3.1 単母音

単母音には前舌母音、中舌母音、後舌母音がある。

(1) 前舌母音

前舌母音の音声については、[y]以外は全部非円唇である。

音素/i/の場合については2種の異音[i]と[ɨ]があるが、以下の通り相補分布を成している。

/i/ [ɨ]/{ts,tsh,s,z}_, [i]/elsewhere

/i/ 非円唇前舌狭母音[i]:

里 /li⁵⁵/ [li⁵⁵]

「中」

西 /xi³⁵/ [ɕi³⁵]

「西」

你 /ni⁵⁵/ [ni⁵⁵]

「第二人称」

非円唇舌尖母音[ɨ]:

子 /tsi⁵⁵/ [tsɨ⁵⁵]

「子供、指小辞」

吃 /ts^hi³⁵/ [ts^hɨ³⁵]

「食べる」

日 /zi²¹³/ [zɨ²¹³]

「太陽」

/ɛ/ 非円唇前舌半広母音[ɛ]:

愛 /e ²¹³ / [ɛ ²¹³]	「愛」
来 /le ⁵¹ / [lɛ ⁵¹]	「来る」
奶 /ne ⁵⁵ / [nɛ ⁵⁵]	「牛乳」

/y/ 円唇前舌狭母音[y]:

雨 /y ⁵⁵ / [y ⁵⁵]	「雨」
緑 /ly ³⁵ / [ly ³⁵]	「緑」
女 /ny ⁵⁵ / [ny ⁵⁵]	「女」

(2) 中舌母音

中舌母音については、全ては非円唇になっている。

音素/a/の場合は2つの異音[a][ɐ]があるが、いずれも相補分布を成している。

/a/ [a]/_n,[ɐ]/elsewhere

/a/ 非円唇中舌広母音[ɐ]:

放 /fan ²¹³ / [fɛŋ ²¹³]	「放す」
拉 /la ³⁵ / [lɛ ³⁵]	「引く」

非円唇前舌広母音[a]:

栓 /fan ³⁵ / [fan ³⁵]	「縛る」
---	------

/ə/ 非円唇中舌中央母音[ə]:

餓 /ə ²¹³ / [ə ²¹³]	「飢える」
了 /lə ⁵⁵ / [lə ⁵⁵]	「完了助動詞」
呢 /nə ⁵⁵ / [nə ⁵⁵]	「感嘆詞」

(3) 後舌母音

後舌母音は/o/と/u/が存在している。/o/は音声的には[ɔ]で、/u/は音声的には[u]で実現しており、いずれも円唇である。

/o/ 円唇後舌半広母音[o]:

袄	/o ⁵⁵ / [o ⁵⁵]	「上着」
老	/lo ⁵⁵ / [lo ⁵⁵]	「年取る」
脑	/no ⁵⁵ / [no ⁵⁵]	「脳」

/u/ 円唇後舌狭母音[u]:

屋	/u ³⁵ / [u ³⁵]	「建物」
路	/lu ²¹³ / [lu ²¹³]	「道」
怒	/nu ²¹³ / [nu ²¹³]	「怒る」

3.3.2 二重母音

二重母音には上昇二重母音と下降二重母音の2種類が認められる。以下を参照されたい。

上昇二重母音: /ia/ /ua/ /iə/ /uə/ /yə/ /ie/ /ue/ /io/ /iu/

下降二重母音: /ei/ /əu/

3.3.2.1 上昇二重母音

/ia/

牙	/ia ⁵¹ / [iə ⁵¹]	「齒」
家	/kia ³⁵ / [tɕiə ³⁵]	「家」

/ua/

娃	/ua ⁵¹ / [uə ⁵¹]	「子供」
夸	/k ^h ua ³⁵ / [k ^h uə ³⁵]	「褒める」

/iə/

别	/piə ⁵¹ / [piə ⁵¹]	「しない」
裂	/liə ⁵⁵ / [liə ⁵⁵]	「破る」

/uə/

卧	/uə ²¹³ / [uə ²¹³]	「伏せる」
落	/luə ²¹³ / [luə ²¹³]	「落ちる」

/yə/

药 /yə³⁵/ [yə³⁵]

「薬」

缺 /k^hyə³⁵/ [t^hyə³⁵]

「足りない」

/ie/ 音声的には[iɛ]で実現している。

挨 /ie³⁵/ [ie³⁵]

「近接する、される」

姐 /kie⁵⁵/ [tɕie⁵⁵]

「姉」

/ue/ 音声的には[uɛ]で実現している。

崴 /ue⁵⁵/ [uɛ⁵⁵]

「捻挫する」

乖 /kue³⁵/ [kuɛ³⁵]

「おとなしい」

/io/ 音声的には[iɔ]で実現している。

腰 /io³⁵/ [iɔ³⁵]

「腰」

表 /pio⁵⁵/ [piɔ⁵⁵]

「時計」

/iu/

有 /iu⁵⁵/ [iu⁵⁵]

「ある、持っている」

酒 /kiu⁵⁵/ [tɕiu⁵⁵]

「お酒」

3.3.2.2 下降二重母音

二重母音/ei/の/e/は単母音で[ɛ]で実現しているが、二重母音の場合では[e]で実現する。

/e/ [e]/#_{i},[ɛ]/elsewhere

/ei/

水 /fei³⁵/ [fei³⁵]

「水」

北 /pei⁵⁵/ [pei⁵⁵]

「北」

/əu/

藕 /əu⁵⁵/ [əu⁵⁵]

「蓮根」

搂 /ləu⁵⁵/ [ləu⁵⁵]

「抱きしめる」

3.3.3 三重母音

三重母音には、/uei/と/yei/の2個の音素がある。

/uei/

喂 /uei²¹³/ [uei²¹³] 「食べさせる」
 对 /tuei²¹³/ [tuei²¹³] 「正しい」

/yei/

堆 /k^hyei³⁵/ [te^hyei³⁵] 「詰める」
 碎 /xyei²¹³/ [eyei²¹³] 「崩れる」

3.4. 声調

3.4.1 単音節の声調

泗水方言の声調は中国標準語の声調と同じく、4つの声調素がある。また、軽声も認められる。標準語と対照した例は以下のとおりである。

ma の発音	妈	麻	马	骂
標準語	ma ⁵⁵	ma ³⁵	ma ²¹⁴	ma ⁵¹
泗水方言	ma ³⁵	ma ⁵¹	ma ⁵⁵	ma ²¹³

3.4.2 変調

変調の状況は以下の表に示す（太字は変調するパターン）。泗水方言でも2音節語で変調が見られ、いくつかの組み合わせでは第一音節、第二音節ともに変調する例がある。変調する際には声調素でない声調が出現するが、それは音声実現による変調である。

第一音節/第二音節	/35/	/51/	/55/	/213/
/35/	35+35	35+51	213+55	213+0
/51/	51+35	51+51	51+55	55+213

/55/	33+35	33+51	33+55	33+213
/213/	213+35	213+55	213+213	213+51

二音節の変調(軽声を除く)

35+

35+35	公司/ <i>kuŋ³⁵si³⁵</i> /	「会社」
35+51	亲人/ <i>k^hiŋ³⁵zən⁵¹</i> /	「親戚」
35+55	天狗/ <i>t^hian³⁵kəu⁵⁵</i> / → <i>t^hian²¹³kəu⁵⁵</i> /	「中国神話の動物」
35+213	阴历/ <i>in³⁵li²¹³</i> / → <i>in²¹³li⁰</i> /	「旧暦」

51+

51+35	晴天 / <i>k^hiŋ⁵¹tian³⁵</i> /	「晴れること」
51+51	牛毛/ <i>niu⁵¹mo⁵¹</i> /	「牛の毛」
51+55	流水/ <i>liu⁵¹fei⁵⁵</i> /	「流水」
51+213	年货/ <i>nien⁵¹xuə²¹³</i> / → <i>nien⁵⁵xuə²¹³</i> /	「正月用品」

55+

55+35	火车/ <i>xuə⁵⁵tshə³⁵</i> / → <i>xuə³³tshə³⁵</i> /	「列車」
55+51	打雷/ <i>ta⁵⁵lei⁵¹</i> / → <i>ta³³lei⁵¹</i> /	「雷が鳴る」
55+55	打扫/ <i>ta⁵⁵so⁵⁵</i> / → <i>ta³³so⁵⁵</i> /	「掃除」
55+213	水库/ <i>fei⁵⁵khu²¹³</i> / → <i>fei³³khu²¹³</i> /	「ダム」

213+

213+35	大车/ <i>ta²¹³tshə³⁵</i> /	「大きな車」
213+55	动手/ <i>tun²¹³səu⁵⁵</i> /	「手を出す」
213+213	地面/ <i>ti²¹³mien²¹³</i> /	「地面、床」
213+51	太阳/ <i>the²¹³ian⁵¹</i> /	「太陽」

表でまとめると、変調のパターンが二つに分類することができる。Aは声調素の交替である一方、Bはより発音しやすいように調整された、音声実現の変調である。

第一音節/第二音節	/35/	/51/	/55/	/213/
-----------	------	------	------	-------

/35/	35+35	35+51	213+55 (A)	<u>213+0 (B)</u>
/51/	51+35	51+51	51+55	55+213
/55/	<u>33+35</u> (B)	<u>33+51</u> (B)	<u>33+55 (B)</u>	<u>33+213</u> (B)
/213/	213+35	213+55 (A)	213+213 (A)	213+51 (A)

3.4.3 軽声

泗水方言の軽声(0で表示する)は主に指小辞「子」に見られることが多い。また、形容詞の第二音節が軽声になることがある。

35+0	桌子	/tsə ³⁵ tsi ⁰ / /tsə ²¹³ tsi ⁰ /	「机」
51+0	明白	/miŋ ⁵¹ pei ⁰ / /miŋ ⁵⁵ pei ⁰ /	「明らか」
55+0	老实	/lo ⁵⁵ si ⁰ / /lo ³⁵ si ⁰ /	「おとなしい」
213+0	棍子	/kun ²¹³ tsi ⁰ / /kun ⁵¹ tsi ⁰ /	「棒」

表にまとめると、以下のようになる。表の下の配列を見れば、非常に興味深いことが起こっている。第二音節が軽声の場合であれば、第一音節の変調後の声調が35、213、51、55、35の順番に繰り返す。

	第二音節	
	第二音節変調前	第一音節変調後
第一音節	35	213
	51	55
	55	35
	213	51

平山(2005)はこの現象を「軽声前変調の還流説」と述べ、山東省の徳洲方言の例を挙げている。以下、徳洲方言の例を平山(2005)から引用する。

	陰平	陽平	上声	去声
単字調値	213	42	55	21
変調調値加軽声	21+3	55+2	213+2	42+2

以上の徳洲の例をみると、軽声の変調も 213、21、42、55、213 のように循環する。この現象は上記の泗水方言の現象と類似している。

4. 泗水方言の特殊音韻現象

本節では泗水方言の特殊な音韻現象について例示を試みる。泗水方言においては共時的にいくつかの音交替が見られる。ここでは太田（2008）で記述されている現象²の他、自由変異や成節子音を新たに追加して説明を行う。

泗水方言の共時的な音交替を以下にまとめる。

4.1 弱化

泗水方言には第二音節の頭子音[s]が[h]で実現する場合がある。それが一つの弱化として考えられる。例をみれば、第2音節のところは軽声かつ機能語である場合、弱化が起こりうる。

(1)多少	[tuə ⁵¹ so ⁰] [tuə ⁵¹ hə]	/tuə ⁵¹ so ⁵⁵ /	「いくら」
(2)晚上	[uan ³⁵ saŋ ⁰][uan ³⁵ haŋ ⁰]	/uan ³⁵ saŋ ⁰ /	「夜」
(3)连上 できる」	[lien ⁵⁵ saŋ ⁰] [lien ⁵⁵ haŋ ⁰]	/lien ⁵⁵ saŋ ⁰ /	「繋げることが できる」
(4)考上	[k ^h o ⁵⁵ saŋ ⁰] [k ^h o ⁵⁵ haŋ ⁰]	/k ^h o ⁵⁵ saŋ ⁰ /	「入学できる」

4.2 逆行同化

闺女 [kuei ²¹³⁻³¹ ny ⁰]	[kuɤ ²¹³⁻³¹ ny ⁰]	「娘」(太田 2008)
闺女 [kuei ²¹³ ny ⁰]	[kun ²¹³ ny ⁰]	「娘」

² 太田は《汉语方言地理学所用概念及其例子-特殊音变的类型》[2008.3.25]で、漢語方言にはシンタグマティックな音変化として隣接同化、離隔同化、語末音消失、音位転換と結合音の5種類があると指摘している。

例をみると、すべては第一音節の語末音は第二音節の頭子音の影響で同化される。[uei]は[n]の影響で鼻音化し[kun]になっている。

4.3 異化

亲家 [tɕ^hin⁵¹teie⁰] [tɕ^hiŋ⁵¹teie⁰] 「配偶者の実家」

以上の例は、[in]は第二音節の口蓋音[tɕ]の影響を受け硬口蓋化し[iŋ]になっている。

4.4 離隔同化

龟孙 [kuei²⁴eyn³⁵] [kun²⁴eyn³⁵] 「人柄の悪い人間、罵る言葉」

以上の例のように、第一音節の語末音[uei]は第二音節の語末音[yn]の影響により同化され、[un]になっている。

4.5 音位転換

脖颈 [pə⁴⁴lə⁰kəŋ⁵⁵] [kə⁴⁴lə⁰pəŋ⁵⁵] 「首」

胳膊 [kə²¹³lə⁰pe⁵¹tsi⁰] [pə²¹³lə⁰pe⁵¹tsi⁰] 「腕」

以上の例は、音韻形式は異なるが、意味は同じである。二つの例は身体名詞で、/p/と/k/の転換である。両方とも存在し、使用できる。

4.6 合音

脊梁骨 /ki²¹³liəŋ⁵⁵ku³⁵/ [tei²¹³liəŋ⁵⁵ku³⁵] → [tei²¹³iəŋ⁵⁵ku³⁵] → [tɕeŋ²⁴ku³⁵] 「背中」

以上の例は元々三音節語の第一音節と第二音節が結合し、二音節語になっている。このような場合は第一音節母音と第二音節の介音が一致すれば、起こりうる。

[R 化結合音]

音節/ər/と語を構成する際、前の音節の母音が/a/と結合し（末子音がある場合では末子音が脱落する）、一個の音節になる現象である。

(1) {CV, CVV, VVV} + /ər/

地儿	[ti ²¹³ ər]	→[tiər ²¹³]	「所」
子儿	[tsɿ ⁵⁵ ər]	→[tsər ⁵⁵]	「お金」
桃儿	[tʰɔ ⁵¹ ər]	→[tʰər ⁵¹]	「桃」
水儿	[fer ⁵⁵ ər]	→[fer ⁵⁵]	「水」
味儿	[uer ²¹³ ər]	→[uer ²¹³]	「味」

(2) {CVC, CVVC} + /ər/

大门儿	[tɕ ²¹³ mən ⁵¹ ər ⁵¹]	→[tɕ ²¹³ mər ⁵¹]	「正門」
水管	[fer ⁵⁵ kuan ³⁵ ər]	→[fer ⁵⁵ kuər ⁵⁵]	「水道」

(1)に見られるように〈地儿〉のように/ər/が結合して声調を含めて1音節となる場合に加え、〈水儿〉のように第一音節の音節末の母音を脱落させる場合がある。また(2)に見られるように、/ər/の直前の音節末に鼻音が存在する場合、脱落した上で結合する。

4.7 自由変異

俺 /an/ [an⁵⁵]~[ŋan⁵⁵] 「第一人称代名詞」(男女兼用)

軟口蓋鼻音が頭子音として音声的に現れる場合はこの一例しかない。現地調査では言語コンサルタントは両方とも使用しているため、以上の例は自由変異の事例であると考えられる。

4.8 成節子音

泗水方言では、三音節語を発音する時、第二音節の母音が脱落する場合がある。

丈母娘	/tsaŋ ⁵¹ mu ⁵⁵ nian ⁵¹ /	[tsaŋ ⁵¹ <u>m</u> niɛŋ ⁵¹]	「嫁の母」
丈母爷	/tsaŋ ⁵¹ mu ⁵⁵ iə ⁵¹ /	[tsaŋ ⁵¹ <u>m</u> iə ⁵¹]	「嫁の父」

以上のように、泗水方言における成節子音は現時点では入力が頭子音が/m/と母音/u/の時に限られる。一種の音声的な現象と考えられる。

5. おわりに

以上、漢語泗水方言の音声と音韻について分析し、音韻体系を整理した。結論としては以下のようにまとめられる。

- (1) 子音音素には破裂音(6個)、鼻音(2個)、摩擦音(5個)、破擦音(2個)、接近音(2個)がある。頭子音は有気と無気の対立が多いが、標準語と違っており、摩擦音において有声と無声の対立もある。
- (2) 母音には単母音(7個)、二重母音(11個)、三重母音(2個)からなる。
- (3) 声調には標準語と同じ4つの声調がある。それに軽声も認める。連続変調(軽声除く)には声調素の交替は2つあり、音声実現における変調は5つある。
- (4) 特殊音韻現象は山東方言に共通した音交替(隣接同化、離隔同化、語末音消失、音位転換と結合音)の他に、自由変異や成節子音も見られる。

軽声については、平山(2005)が述べている「還流説」は歴史言語学に関係する。泗水方言における軽声前の変調の還流説はどのように機能しているのかについては、歴史言語学的な観点から今後詳細な分析を行いたい。

参考文献：

- 平山久雄(2005)《语言学论文集》北京：商务印书馆
 泗水县地方史志编纂委员会编(2006)《泗水县志》 济南：山东人民出版社
 太田 斎(2008)《汉语方言地理学所用概念及其具体例子—特殊音变的类型—》(陝西師範大学 講演配布資料, 2008年3月25日)
 王衍军(2014)《泗水方言研究》广州：暨南大学出版社